



高速しが

平成28年
11月号

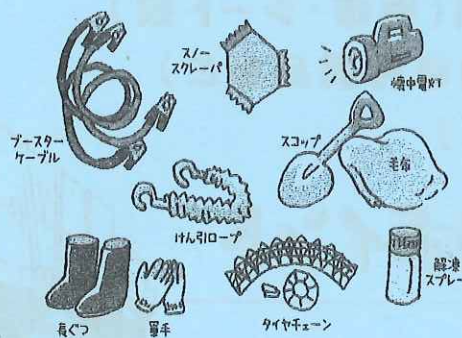
発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

雪への準備・対策はできていますか？

冬将軍到来の季節になりました。県内の高速道路は、山間部を通過する箇所が多くあり、晴れていてもトンネルを境に突然天候が変わり、風雪に見舞われることがあります。冬の高速道路では、急な天候の変化で積雪することを常に認識し、早目に冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ)に交換しておくとともに、運行前には気象状況を確認しておきましょう。

交通情報をチェック！

目的地までの道路状況、積雪、凍結、チェーン規制、通行止めなどの交通情報をあらかじめテレビ・ラジオ・インターネットなどで確認しましょう。運転困難な場合は公共交通機関の利用や出発時間の変更も検討しましょう。



装備品をチェック！

冬用タイヤを装着していても雪の多い地域を通行するときはチェーンも必要です。非常時に備えて懐中電灯、工具、停止表示板、発煙筒、軍手などを用意しておきましょう。

自動車をチェック！

出発前には必ず自動車の運行前点検をしましょう。燃料、バッテリー、ウォッシャー液など十分補充できているかを確認しましょう。



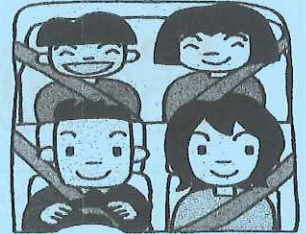
忘れずに 全席シートベルトの着用を!!

★シートベルトは “あなたの命綱”

走る車に乗っている人は、車の速度と同じ速度で進んでいるのです。人と車は一心同体、車が急に止まれないように人の体も急には止まれません。

衝突の衝撃によって、人の体は想像以上の力でハンドル、天井、フロントガラス、ドア等に叩きつけられます。

最悪の場合にはフロントガラスを打ち破って車外に放出され、重大事故となる可能性もあるのです。エアバッグが装備されていても、シートベルトを着用しないと十分な効果を発揮しません。



★車に乗ったら “まず シートベルト”

「シートベルトは着けた？」を合い言葉に、運転席、助手席だけでなく後部座席もシートベルトを着用しましょう。

6歳未満の子どもを乗車させるときには、チャイルドシートの使用が義務づけられています。



落下物は、落とし主の責任です!

落下物ワースト3 (H27 NEXCO調べ)

1. フラスチック・ビニール・布類(毛布・シート類)
2. 自動車部品類(タイヤ・自動車付属品など)
3. 木材類(角材・ベニヤ板など)

落下事故を起こさないためのポイント

◎積み荷をしっかりと固縛する

固縛の方法は荷物によって違います。出発前に念入りに確認を!

◎過積載は絶対にしない

過積載や積載制限(長さ・幅)の超過が、落下事故につながります。

◎急ハンドル・急ブレーキを避ける運転をする。

急な運転操作により荷台に大きな力がかかり、落下事故を誘発することがあります。

◎SAの休憩時には積み荷をチェックする

高速道路では、長時間の走行による振動で積み荷の固縛が緩みやすくなるので、SA・PAでの休憩時には必ずチェックしましょう。

